

CASE.4 ポケモン WCS の横浜開催を記念し ラッピングトレインの運行とみなとみらい駅の装飾を実施



横浜高速鉄道(株)は7月15日から8月20日までの間、ポケモン WCS が横浜で開催されることを記念し、大会オフィシャルアートを施したラッピングトレインを運行。また、7月17日から8月14日までの間は、大会会場であるパシフィコ横浜の最寄駅「みなとみらい駅」構内の柱・階段・床などに大会オフィシャルアートをラッピング装飾した。

各装飾のシート出力は、写真ビジネスで培った技術とノウハウをもとに、大型ディスプレイや商業サイン、

大型出力などのサービスを展開する富士フィルムイメージングシステムズ(株)、施工は OOH の提案からイベント企画・運営、ディスプレイサインの企画・製作業務まで幅広く手掛ける(株)NKB Y's が担当した。

ラッピング車両は、横浜高速鉄道 Y500 系 (3 編成) で、車体横 (68.42 m / 1 編成・8 両) とヘッドマーク (楕円形 :H492×W650mm) に大会オリジナルデザインをあしらった。

駅構内のラッピングサイズは、ホーム大柱壁面 H5577×W1350mm

×4 面、ホーム床面 80㎡、ホーム天井 1000×5400mm (最長)、内照式駅名標看板が H497×W2873mm (同所のみシート出力は(株)フジサワ・コーポレーションが担当)、エスカレーター・ガラス腰壁シート H570×W15696mm となっている。

装飾の反響について、担当者は「ホーム対向壁の駅名標を世界大会仕様にしたことなどについては、多くのメディアで取り上げていただき、SNS でも多数の投稿・ロコミを通じて大きな話題となった」と話す。